

役員立候補者等公示

公示番号 ー 09

立候補役職名	全道理事			
(ふりがな)	いまい あつし	性別	生年月日	年齢
氏名	今井 敦	男	1979年7月2日	41 歳
勤務先名	社会福祉法人旭川三和会 特別養護老人ホーム緑が丘あさひ園			
会員番号	2 2 9 5 1	市町村	旭川市	道北地区支部
主な活動歴	平成24年度より、本会の地域包括支援センター支援委員や高齢者虐待対応専門職チーム員として、令和2年度からは北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会の副会長として、道内の地域包括支援センターのネットワーク構築や高齢者虐待の防止に資する活動に取り組んでいます。また、令和元年度より、本会の地域包括支援センター支援委員会・現場実習指導者研修委員会の担当理事として活動しております。			
立候補理由・抱負	地域包括支援センター支援委員会、現場実習指導者研修委員会、高齢者虐待防止に向けた研修（養護者・養介護施設従事者等）・基礎研修の講師、災害時のニーズ調査支援等の経験をさせていただく中で、社会福祉士は様々な分野において専門性を発揮することができると感じ、その必要性・重要性をあらためて認識しております。また、本会へ入会することにより、諸先輩方をはじめとする社会福祉士の皆様と職種・分野を超えた繋がりを持つことができ、その中でたくさんのご意見・アドバイスをいただくことで、社会福祉士としてより有意義な時間を過ごさせていただいております。この度、これまでの経験を活かして ①皆様が実践されている活動に対し、本会として一翼を担うこと ②本会の役割や魅力を地域・関係機関へ発信し、社会福祉士が活躍できる場と職域拡大に繋げること ③本会の継続的な発展と安定した運営に繋げること を実現したく、立候補いたします。			
推薦者 1	高橋 通江	会員番号	2 2 7 1 1	道北地区支部
推薦理由	今井候補は、道北地区支部のみならず、高齢者虐待対応専門職チーム員として、また北海道内の各市町村等との連携を通じ、地域包括ケアシステムの構築支援、高齢者虐待防止に関する研修等を通じた専門性の支援に熱心に取り組んでおられます。特に養介護施設従事者等における虐待対応に関してはエキスパートであり、今後道内の研修体制を構築するために活躍していただく存在です。平成26年からは、北海道地域包括・在宅介護支援センターの幹事、令和2年度からは副会長となられ、道内だけでなく、全国の地域包括支援センターのリーダーとしても活躍されております。また、東日本大震災のときにも、自ら社会福祉士会の災害支援活動も行っておられました。個別支援のみならず、地域支援等積極的に行う姿は、ソーシャルワークの鑑であり、今後の社会福祉士会の発展において必要不可欠な方であり、理事へ推薦させていただきます。			
推薦者 2	松林 邦昭	会員番号	1 3 9 2 7	道北地区支部
推薦理由	私が今井候補を推薦する理由は3つあります。 1、北海道社会福祉士会理事としての活動実績、経験が豊富であるため 今井候補は平成30年から本会理事としての実績があり、特に現場実習指導者研修及び地域包括支援センター支援委員会においてご尽力いただいております。 2、社会福祉士として業務に向き合う姿勢が素晴らしいため 毎年、今井候補と一緒に地区の研修会を企画、実施しておりますが、特に「事前準備と調整」を大切にして堅実かつ正確に仕事に向き合う姿勢に、いつも学びと刺激を受けています。 3、今後の北海道社会福祉士会の運営に必要な人材であるため 福祉課題が多様化するなかで、北海道社会福祉士会としては、安定的で住民に信頼される組織づくりが必要だと考えます。その点で今井候補の「事前準備力」と「調整力」が欠かせない力であると考えます			
推薦者 3	中森 建樹	会員番号	1 7 9 5 6	道北地区支部
推薦理由	今井候補は本会では役員、研鑽研修の企画運営、会員同士の交流連携構築、災害支援に取り組まれました。それと並行し相談支援の実践現場では長く地域包括支援センター長として個別支援から地域課題解決の仕組みづくり、制度横断的ネットワーク構築、権利擁護活動に尽力されました。現在は特別養護老人ホームで副施設長兼事務長に就任、施設側からの視点に沿ったソーシャルワークを実践されています。また北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会副会長として地域包括ケアシステム推進に取り組まれるなど、多岐にわたる活動を通じて同職はもちろん関係者からの信頼も厚く、ジェネラリストソーシャルワーカーとしての経験と実践力が十分に備わっておられる方だと考えます。特に人とのつながりや知見の共有を大切にされる姿勢が素晴らしく、生涯研鑽を基軸とする社会福祉士会発展に寄与される方であると確信があり、ここに推薦させていただきます。			